

鈴鹿の海開き式

千代崎海水浴場で、鈴鹿の海開き式が行われ参加してきました。

中日新聞社のヘリコプターからの花束投下や、四日市海上保安部所属の巡視艇による祝賀放水なども行われました。あいにくの曇り空でしたが、晴れていれば祝賀放水ではきれいな虹が見られたでしょう。東風が強く、放水による霧(塩水)を浴びました。海水浴場では土日を中心に様々なイベントも行われます。多くの親子連れなどで賑わってほしいと思います。(7月8日)



若松海岸 清掃ボランティア

若松海岸清掃ボランティアがあり、参加してきました。若松海岸をメイン会場に、千代崎海岸、原永海岸でもおこなわれ、近くの千代崎海岸に行きました。千代崎海岸は千代崎中学の生徒300人、自治会、老人会からも100人を超える参加で、海岸のゴミが拾い集められました。きれいな海岸は地域の宝であり財産です。準備していただいた若松自治会長会をはじめ関係者・スタッフの皆さんご苦労さまでした。



砂浜には、ヒルガオとハマボウフウが咲いていました。美しい風景です。(5月21日)



小岐須・椿溪谷 山開き

小岐須・椿溪谷 山開きが7月1日、小岐須溪谷山の家で行われ、参加してきました。小岐須に行ったのは30年ぶりでしょうか?小岐須町の町並み、キャンプ場までの道、30年前と何らかわらぬ風景が維持されており、驚きです。

山開きの式典のあと、アマゴの稚魚の放流が行われ、参加者みんな童心に返ったひとときでした。梅雨の中休みの真夏日、青空とさわやかな風が小岐須溪谷にながれます。(7月1日)



発行：鈴鹿市議会議員 橋詰 圭一【日本共産党】

No.5 2016年8月号

〒510-0226 鈴鹿市岸岡町2874-1
電話・FAX 059-386-8561
携帯 090 6577 3617
ホームページ [はしづめ圭一] 検索



6月議会 一般質問 公民館など2階に洋式トイレを

6月議会一般質問で、3点質問しました。

①公民館等のトイレ改修について

公民館の男女別トイレへの改修状況は、この10年で17館が整備され、残り7館も計画的にすすめられている。

男女別改修に先立ち、全ての公民館などで、和式トイレの洋式化、一つ以上の洋式トイレの設置が完了しており、利用者に喜ばれているが、2階建て建物の2階トイレで和式しかないところが多く、改善を望む声が多く聞かれる。2階トイレを「簡易設置洋式トイレ」でもいいから早急に洋式にできないか?公民館の2階建て建物で2階にトイレがあるのは7館で洋式便器がないのは3館である。

コミュニティセンターは、整備計画はないが今後、指定管理者からヒアリングを行うなどして、トイレへの男女別化と合わせて2階部分も「検討していきたい」との答弁でした。

②「人権尊重のまち」について

庁舎と立体駐車所を結ぶ通路の脇に建てられていた「部落差別をなくそう」と書かれた大看板が、5月21日に外され、「人権尊重のまち」という言葉に入れ替わりました。大変うれしく思います。

質疑の中で、当局は「部落差別はなくなった」とはとらえていないが、様々な人権問題、子ども、障害者、国籍や民族、女性、

高齢者などに関する人権問題の中で、同和問題というのは相対的に比重が小さくなったととらえていると理解しました。

「すべての人が人として尊ばれ、基本的人権が保障された明るく住みよい社会の実現は、私たちの強い願いです」という言葉ではじまる、鈴鹿市「人権尊重都市宣言」に沿った施策がすすめられることを望みます。

③地域づくり協議会推進について

市の幹部職員470人を支援職員として配置し、「鈴鹿市地域づくり推進本部」が設置され、地域づくり活動がスタートした。地域づくり協議会を作ることが、地域の絆づくり、自治会などの活動の活性化にどうつながると考えているか?具体的にどういう活動をイメージしているのか?と問いただしました。

「役割分担と効果的な地域活動」につながる。例えば、防犯パトロールでは、個々の団体や住民がともに地域づくり協議会の「防災安全部」として活動することで、地域の安心安全につながる事業にできる。また、団塊の世代の退職者の地域活動への参加や、NPOや地域内企業との連携により、効果的な地域活動の展開も期待できる、との答弁。

また、一つの行政区で複数の小学校を抱える白子、玉垣、国府地区では、地区市民センター所長に過度の負担にならないよう提言しました。

■ブログ記事を中心に編集しています。皆様のご意見・感想をお寄せ下さい。

■日々の活動は、ホームページ、ブログ、facebookをご覧ください。

「はしづめ圭一」で 検索して下さい。



安倍政権のもと、憲法を守り活かす運動を

参議院選挙、三重選挙区では野党統一候補・民進党の芝ひろかずさんが当選し、ホッとしましたが、全体では改憲勢力が3分の2をしめる残念な結果になりました。

安倍晋三首相は11日、参院選を受けて記者会見し、憲法改正について「わが党の案をベースにして、どう3分の2を構築していくかが、政治の技術だ」と述べ、野党時代につくった自民党草案をもとに議論を主導する考えを表明しました。

いま、多くの皆さんに自民党「日本国憲法改正草案」(2012年4月発表)を読んで憲法について議論をしてほしいと思います。

日本国憲法では、「国民主権」「基本的

人権の尊重」「平和主義」を基本原則としていますが、自民党「改正草案」では、この3つをことごとく否定する中身になっています。ひとりひとりの国民より「国家」が主語になり中心におかれているのです。

①立憲主義から国権主義に、②基本的人権の制限、③平和国家から軍事国家へ、この3つをキーワードに、憲法について学び議論していきたいと思ひます。

改憲勢力が3分の2をしめたもとでも、今回の選挙で示された野党と市民が力を合わせた活動、憲法を守り活かす運動を、皆さんとともにいっそう大きくしていきたいと思ひます。

り問題なのは浜岡原発は活断層の真上に建てられていることです。熊本のような直下型地震がくればアウトです。

中電は浜岡原発を再稼働させようと安全を大規模PRしているようですが、住民の理解は得られていません。お隣の菊川市では昨年9月議会で、再稼働の前提条件に高いハードルを課す「意見書」が全会一致で可決されたといひます。

今現在、原子炉本体に核燃料は入っていません。このまま核燃料は安全な場所に保管し続けてほしいものです。



浜岡原発を見学

鈴鹿から2時間半、ワゴン車に乗せてもらって、静岡県の浜岡原発見学会に参加しました。昼食を食べながら、「浜岡原発の危険から住民を守る会」事務局の方から説明を受けた後、中部電力「浜岡原子力館」に行きました。

なぜか、「諸般の事情により、本日、展望台は利用できません」という貼り紙があり、全体を見渡せる展望台は立ち入り禁止です。1階の実物大模型などを見学したあと、海岸線から、最近完成した標高22メートル、全長1.6キロの防波壁を見て来ました。

当初は標高18メートルの予定だったが、南海トラフ巨大地震の発生時に予想される津波の最大の高さを21.1メートルに見直し、壁の高さも4メートルかさ上げしたということで、4メートルのかさ上げ部分のはっきりとわかります。これで津波が防げるのか?という疑問もありますが、それよ

住宅生活再建支援

宮崎県の共産党の方からFAXと電話。「息子が鈴鹿市に居るが、体調をくずして仕事も辞め、経済的にも精神的にも追い詰められているようだ、連絡もとれず心配だ」との相談があったので対応して、とのこと。さっそく連絡先のアパートを訪ねる。

市内大手企業に期間社員として昨年12月入社(以前も3回、合計8年以上勤務)したTさん、今年3月末、股関節炎で歩くのが困難になり休職、5月に自己都合退職...股関節炎...なかなか仕事との因果関係を証明するのが難しい。

体調は回復したが、失業中で家賃を3ヶ月滞納、所持金は1500円しかなく、電気も来週止められるというホームレス直前。

住宅生活再建支援に、朝から、ハローワーク→市役所保護課・国保課→福祉センター→市役所住民課・保護課→ハローワーク→福祉センター→アパート家主、と回る。夕

方6時までかかって何とか、住宅確保給付金、生活支援費、一時生活再建費のめどがついた。

「緊急食料支援物資」を申し込んだら翌日に届きありがたい。段ボール箱に、お米をはじめレトルト食品がたくさん入っており、3ヶ月分の食料だそうです。

派遣や非正規で働いていると、若くても病気になると、住むこと食べることも困難になる日本社会。ぎりぎりの社会保障、生活支援。負の連鎖から抜け出せるかどうか、仕事がみつかるかどうか、しばらく見守ることになります。(7月7日)



憲法学者・小林節さん鈴鹿講演会、大成功

鈴鹿市民会館で5月22日に、憲法学者の小林節さんをお招きして、「どうする平和、くらし、ボクらの未来」と題する講演会が開催され、1100名を超える入場者で大成功しました。

昨年12月の準備会以来、実行委員会事務局の一員として準備をすすめてきました。前売りチケットはそこそこ売れていましたが、開幕まで何人来ていただけると不安でしたが、当日券も約100枚売れるなど、予想を超える参加者で、スタッフ一同感激しました。

小林節さんは、憲法とは何か?立憲主義

とは何か?安倍政治の何が悪いのか?なぜ「戦争法」というのか?なぜ野党共闘を訴えるのか?など、ユーモアをまじえながらお話しされました。

講演の内容は「小林節 鈴鹿」で検索してください。YouTube映像もあります。

